

大会競技規則

少年の部(幼年・小学生・中学生)

1. 競技方法

(1) 試合方法 予選リーグ・決勝トーナメント戦方式

リーグ戦の試合時間は、1 分間 3 本勝負。

- ・ 3 本勝負(2 本先取した者の勝ち)とする。
- ・ 1 本先取後、試合時間終了の時、1 本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 取得本数が同数の場合は引き分けとする。

リーグ戦の順位は以下の順位で判断する。

- ①勝ち数が多いもの
- ②負け数が少ないもの
- ③取得本数が多いもの
- ④取られた本数が少ないもの

以上が同数の場合は再試合を 1 分間の 1 本勝負の延長戦を行う。

さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

決勝トーナメントは、1 分間 30 秒 3 本勝負。

- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、1 分間 1 本勝負の延長戦を行う。さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

(2) 試合方法 トーナメント戦方式

トーナメント戦の試合時間は、1 分間 30 秒 3 本勝負。

- ・ 3 本勝負(2 本先取した者の勝ち)とする。
- ・ 1 本先取後、試合時間終了の時、1 本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 三位決定戦、決勝戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、1 分間 1 本勝負の延長戦を行う。さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。

2. 小学 4 年生以上は「少年ソフト面」を着装する。顔面への攻撃は全て「空撃」で当てない。男子中学 3 年生のみ「一般面」を着装し、面への直接打撃を必要とする。

全学年共、顔面への蹴り技は横蹴りのみとする。

3. 小学 4 年生以上は、股あてをすること。道着の外に着用すること。

4. 「少年面ソフト面」の脱落放らんについては、警告対象としない。

5. 使用できる「少年ソフト面」は、「日本拳法全国連盟」が販売する公認の面、又は大会実行委員会が認めた面とする。

6. 肘や膝へのサポーターは綿の入っていないものは認める。

7. その他は、日本拳法競技連盟競技規則に則って行う。

大会競技規則

高校、一般男子、女子の部

1. 試合方法

- ・ 3本勝負(2本先取した者の勝ち)とする。
- ・ 1本先取後、試合時間終了の時、1本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 準決勝は、試合時間内に勝敗が決しない時、1分間1本勝負の延長戦を行う。
さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。
- ・ 三位決定戦、決勝戦は、試合時間内に勝敗が決しない時、時間無制限の1本勝負の延長戦により勝敗を決する。

2. 試合時間

- ・ 試合時間は2分間とする。
- ・ 一般男子(有段)は、準々決勝以上の試合時間は3分間とする。

3. その他は、日本拳法競技連盟競技規則に則って行う。

「表足プロテクター」に関する競技規定

大会では表足プロテクターの任意着装を認める。

「表足プロテクター」着装に伴う注意事項は以下の通りとする。

1. 自らの腰より低い位置にある相手の面への蹴り技(実撃)を禁止する。
「危険行為」の対象とする。
2. 「表足プロテクター」の脱落放らんについては、防具脱落の警告対象となる。

【表足プロテクターについて】

- ・ 表足プロテクターは、日本拳法全国連盟認定の製品の着装を許可する。
- ・ 「表足プロテクター」の着装は認めるが、シューズの着装は不許可とする。

【参加上の注意事項】

- (1) 各所属団体にて、各自スポーツ傷害保険に加入済みであること。
傷害においては引率団体の責任で対応すること。
- (2) 参加者は、各自の責任において健康管理に十分に配慮し参加すること。
- (3) 試合場で呼び出してもいない選手は失格とする。
- (4) 選手参加費未納者は失格とする。